

動画でわかる
1分で理解できる解答の書き方・前半

◆書き方の考え方◆

解説項目

■「1分で理解できる解答の書き方」について

1. 1分で理解できる解答とは何か
2. 1分で理解できる解答の対象

■「解答の要点」と「要点の説明」について

3. 解答の要点とは
4. 「解答の要点＝解答の糸口」
5. 要点の説明とは
6. 「解答の要点」と「要点の説明」の書き方

■参考

7. 「1分で理解できる解答の考え方」について

1

1. 1分で理解できる解答とは何か

◆以下の2つの要件を満たすもの

- 「解答の要点」と「解答の要点に関する説明(＝要点の説明)」が書いてある解答
- 解答の要点が解答の冒頭に書いてあり、要点の説明がその後に書いてある解答

2

在宅勤務の問題を1つ述べよ

3

会社内で仕事を行う場合には、社内のセキュリティによって会社内にある情報が外部に流出する危険性は小さい。しかし、在宅勤務になると、自宅で使うパソコンのセキュリティが会社のセキュリティに比べて脆弱になる。そのため、在宅勤務によって情報が外部に流出する危険性が出てくる。

◆結局、何が言いたいのだろうか？

4

■「1分で理解できる解答の書き方」で書く

在宅勤務の問題は、情報漏洩の危険性が出てくることである。会社内で仕事を行う場合には、社内のセキュリティによって会社内にある情報が外部に流出する可能性は小さい。しかし、在宅勤務になると、自宅で使うパソコンのセキュリティが会社のセキュリティに比べて脆弱になる。そのため、在宅勤務によって情報が外部に流出する危険性が出てくる。

◆この解答が頭の中に入ってくる

- 赤字の箇所: 解答の要点
- 黒字の箇所: 要点の説明

5

◆ 認識すること

- 解答の内容(受験生の考え)が試験官の頭の中に確実に入る解答を書く
- 1分で理解できる解答を書く

6

2. 1分で理解できる解答の対象

◆ 小問に対して書く

必須科目(令和6年度・建設部門)

選択科目Ⅲ(問題解決能力及び課題遂行能力)も同じ

選択科目(応用能力)も(1)～(3)の出題形式

1-1 建設業は社会資本の整備・管理の主体であるとともに、災害時における「地域の守り手」として、国民生活や社会経済を支える極めて重要な役割を担っている。一方で、建設業従事者は厳しい雇用条件を背景として減少が著しく、他産業を上回る高齢化や若年層の不足が進行している。また、資料記載の高齢や令和6年4月から建設業にも適用された罰則付き時間外労働規制等に対応しつつ、適切に建設工事等が実施される環境づくりも尤もな状況にある。

こうした背景を踏まえ、令和6年6月には、国・県・市・道(建設業法・公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律・公共工事の品質確保の促進に関する法律)が改正されたところである。

上記の建設業を取り巻く状況を踏まえて、持続可能な建設業を実現するために、以下の問いに答えよ。

(1) 我が国の社会資本の整備等の担い手・地域の守り手である建設業がその役割を果たし続けるうえで、技術者としての立場で多面的な観点から3つの技術課題を抽出し、それぞれの観点を明記しよう。その技術課題の内容を示せ。⁽⁸⁾

なお、本設問における「技術課題」には、建設業における構造上、高度上、管理上等の課題も含まれるものとする。

(2) 解答の問いに必ず観点を述べてから技術課題を示せ。

(3) 前問(1)で抽出した技術課題のうち、最も重要と考える技術課題を1つ挙げ、その技術課題に対する複数の解決策を示せ。

(4) 前問(2)で示した解決策に関連して新たに浮かび上がってくる将来的な懸念事項とそれへの対策について、専門技術を踏まえた考えを示せ。

(5) 前問(1)～(3)の業務遂行において必要な要件を、技術者としての倫理、社会の持続性の観点から述べよ。

7

選択科目(令和6年度・建設部門・専門知識・道路)

Ⅱ-1-2 令和7年4月の道路法改正において、災害対応への平時からの備えと有事における初動対応の充実が図られた社会的背景を述べよ。また、同改正における災害対応の深化の概要について説明せよ。

8

3. 解答の要点とは

◆ 「解答すること」に対する要点

- 「解答すること」とは、問題の中で問われていること

9

1-1 建設業は社会資本の整備・管理の主体であるとともに、災害時における「地域の守り手」として、国民生活や社会経済を支える極めて重要な役割を担っている。一方で、建設業従事者は厳しい雇用条件を背景として減少が著しく、他産業を上回る高齢化や若年層の不足が進行している。また、資料記載の高齢や令和6年4月から建設業にも適用された罰則付き時間外労働規制等に対応しつつ、適切に建設工事等が実施される環境づくりも尤もな状況にある。

こうした背景を踏まえ、令和6年6月には、国・県・市・道(建設業法・公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律・公共工事の品質確保の促進に関する法律)が改正されたところである。

上記の建設業を取り巻く状況を踏まえて、持続可能な建設業を実現するために、以下の問いに答えよ。

(1) 我が国の社会資本の整備等の担い手・地域の守り手である建設業がその役割を果たし続けるうえで、技術者としての立場で多面的な観点から3つの技術課題を抽出し、それぞれの観点を明記しよう。その技術課題の内容を示せ。⁽⁸⁾

なお、本設問における「技術課題」には、建設業における構造上、高度上、管理上等の課題も含まれるものとする。

(2) 解答の問いに必ず観点を述べてから技術課題を示せ。

(3) 前問(1)で抽出した技術課題のうち、最も重要と考える技術課題を1つ挙げ、その技術課題に対する複数の解決策を示せ。

(4) 前問(2)で示した解決策に関連して新たに浮かび上がってくる将来的な懸念事項とそれへの対策について、専門技術を踏まえた考えを示せ。

(5) 前問(1)～(3)の業務遂行において必要な要件を、技術者としての倫理、社会の持続性の観点から述べよ。

- 3つの課題が解答すること(解答の要点=3つの課題の要点)
- 将来的な懸念事項が解答すること(解答の要点=懸念事項の要点)

10

在宅勤務の問題を1つ述べよ

在宅勤務の問題は、情報漏洩の危険性が出てくることである。会社内で仕事を行う場合には、社内のセキュリティによって会社内にある情報が外部に流出する可能性は小さい。しかし、在宅勤務になると、自宅で使うパソコンのセキュリティが会社のセキュリティに比べて脆弱になる。そのため、在宅勤務によって情報が外部に流出する危険性が出てくる。

◆ 解答の要点=「解答すること(在宅勤務の問題)」の要点:赤字の箇所

- 解答を一言で言ったこと

11

- ◆ 解答の要点とは、「試験官がまず知りたいこと(解答のポイント)」
 - 「在宅勤務の問題として何を考えたのか？」がまず知りたいこと
- ◆ 解答の要点の役割 ➡ 「試験官がまず知りたいこと(解答のポイント)」を試験官に明確に伝えること(冒頭に書く)
- ◆ 「結論を先に書く」のようなこと
 - 在宅勤務の問題は、情報漏洩の危険性が出てくることである

12

- 解答の要点を考えるときのポイント
 - ◆ 解答の要点を簡潔に考える
 - 解答の要点が頭の中で明確になる

津波避難時の課題を述べよ

- この地域は一人暮らしの高齢者が多く、災害時、逃げ遅れて亡くなる高齢者が多いと判断できることから、課題は高齢者の避難の方法である。
- 課題は高齢者の避難の方法である。この地域は一人暮らしの高齢者が多く、災害時、逃げ遅れて亡くなる高齢者が多いと判断できるからである。

13

4. 「解答の要点＝解答の糸口」

- ◆ 解答の要点とは“解答の糸口”
 - 頭の中が混乱したときの頭の中の整理方法
 - 解答の糸口を簡潔に考える
- 建設業におけるDX推進上の課題を3つ述べよ
 - DXに必要な人材が不足していること(解答の糸口)
- ◆ 解答の糸口を基に要点の説明を考える
 - 解答が完成する

14

5. 要点の説明とは

- ◆ 「解答の要点を説明する内容」あるいは「要点に関する内容」
- ◆ 解答の要点を理解してもらうための内容
- ◆ 解答の要点をしっかり支えるもの

15

政府は、地球温暖化対策推進本部を開き、温室効果ガスの排出量を2030年度に、2013年度比で46%削減する目標を決定した。あなたが考えるこの目標を実現させるための対策を1つ述べよ

16

2030年度までに電源構成を見直すことである。具体的には、まず、温室効果ガスを排出する火力発電所をすべて廃止する。これに対して、温室効果ガスを排出しない原子力発電所の数を新設・継続も含めて現状の2倍にする。……

- ◆ 「『解答の要点』+『要点の説明(解答の要点をしっかり支える内容)』で「1分で理解できる解答」になる

17

6. 「解答の要点」と「要点の説明」の書き方

◆ 解答の要点を解答の冒頭に書き、要点の説明をその後に書く(2つ目の要件)

在宅勤務の問題は、情報漏洩の危険性が出てくることである。会社内で仕事を行う場合には、社内のセキュリティによって会社内にある情報が外部に流出する可能性は小さい。しかし、在宅勤務になると、自宅で使うパソコンのセキュリティが会社のセキュリティに比べて脆弱になる。そのため、在宅勤務によって情報が外部に流出する危険性が出てくる。

◆ このように書くことで、試験官に解答が「明確に」伝わる

18

◆ 複数の解答を書く場合

【1】建設業は社会資本の整備・管理の主体であるとともに、災害時に「地域の守り手」として、国民生活や社会経済を支える極めて重要な役割を担っている。一方で、建設業従事者は厳しい雇用条件を背景に減少が著しく、高齢化を加速する高齢化や若年層の不足が進行している。また、資材価格の高騰や令和4年4月から建設業にも適用される罰則付き時間外労働規制等に対応しつつ、適切に建設工事等が実施される環境づくりも求められている状況にある。

こうした背景を踏まえ、令和6年6月には、国土交通省(建設業法・公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律・公共工事の品質確保の促進に関する法律)が改正されたことである。

上記の建設業を取り巻く状況を踏まえて、持続可能な建設業を実現するために、以下の問いに答えよ。

(1) 我が国の社会資本の整備等の担い手・地域の守り手である建設業がその役割を果たし続けるうえで、技術者としての立場で多面的な観点から3つの技術課題を抽出し、それぞれの観点を明記したうえで、その技術課題の内容を示せ。^(※)

なお、本設問における「技術課題」には、建設業における構造上、制度上、管理上等の課題も含まれるものとする。

(※) 解答の際には必ず観点を述べてから技術課題を示せ。

(2) 前問(1)で抽出した技術課題のうち、最も重要と考える技術課題を1つ挙げ、その技術課題に対する複数の解決策を示せ。

(3) 前問(2)で示した解決策に関連して新たに浮かび上がってくる将来的な懸念事項とそれへの対策について、専門技術者を踏まえた考えを示せ。

(4) 前問(1)～(3)の業務遂行において必要な要件を、技術者としての倫理、社会の持続性の観点から述べよ。

19

2. 維持・修繕を進めるうえでの課題

(1)維持修繕に係わる技術者の不足

現行の基準では、橋梁や道路トンネルの点検は、近視目視や打音検査などで行うことになっている。この点検では技術者が直接検査を行うため経験に基づく技術力やノウハウが要求される。また、診断結果に基づく措置に対しても同様の技術力が要求される。

(2)維持修繕工事の不調・不落

維持修繕工事は、建設会社にとって魅力のない業務である。現状での維持修繕工事の不調や不落の発生がこれを証明している。この理由として「積算金額と実勢価格が乖離している」、「小規模、複雑な案件が多く効率的に業務を行うのが困難」などがある。

◆ 赤字の箇所: 解答の要点(箇条書きのような形式で書く)

◆ 黒字の箇所: 要点の説明

20

■ 「解答の要点」と「要点の説明」を書くときの注意点

■ この地域は一人暮らしの高齢者が多く、災害時、逃げ遅れて亡くなる高齢者が多いと判断できることから課題は、高齢者の避難の方法である。

➤ 「解答の要点(赤のアンダーライン)」と「要点の説明(黒のアンダーライン)」を同じ文の中に書いている

◆ 試験場での頭の中の整理方法

21

7. 「1分で理解できる解答の考え方」について

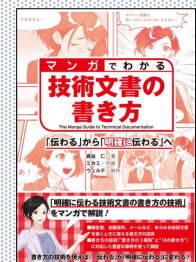
◆ 「1分で理解できる解答」は「6つのルールと18の書き方」の中にある「書き方1: 要点を冒頭に書く」の考え方に基づく書き方

◆ 書き方1とは、「内容に関する要点を冒頭に書き、この要点に関する説明をその後に書くこと」

22

【6つのルールと18の書き方】		
ルール	書き方	書き方と内容
ルール1	書き方1	要点を冒頭に書く
	書き方2	全体像を冒頭に書く
	書き方3	枠組みを冒頭に書く
ルール2	書き方4	根拠を書く
	書き方5	条件を書く
	書き方6	かたまりに分けて書く
ルール3	書き方7	箇条書きで書く
	書き方8	表で書く
	書き方9	写真や図を入れて書く
ルール4	書き方10	強調して書く
	書き方11	まとまりを持たせて書く
ルール5	書き方12	組み合わせで書く
	書き方13	具体的な文を書く
	書き方14	意味が明確な文を書く
ルール6	書き方15	能動態の文を書く
	書き方16	短い文を書く
	書き方17	肯定文を書く
	書き方18	文法を守って文を書く

出典: マンガでわかる技術文書の書き方



23

◆「動画でわかる
1分で理解できる解答の書き方・後半」
に続く

◆具体的な解答の書き方◆